

1. 件 名：三菱原子燃料株式会社による核燃料輸送物設計承認申請（MX－6P型核燃料輸送物）に係る面談（1）

2. 日 時：令和2年7月20日（月）10時00分～11時05分

3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※はTV会議システムによる出席）：

原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門

東管理官補佐、甫出主任安全審査官、山後安全審査専門職、田口係員

三菱原子燃料株式会社

燃料技術本部 燃料・炉心技術部 燃料設計課 主査 他2名※

5. 要 旨：

三菱原子燃料株式会社（以下「事業者」という。）から令和2年6月29日付けで申請のあった、MX－6P型核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認申請書について、以下のとおり面談を行った。

（1）事業者から、資料1に基づき、申請概要の説明があった。

（2）原子力規制庁から、以下の点について詳細な説明を求めるとともに引き続き申請内容を確認することとした。

○輸送容器の吊上げ時の（トラニオン及びハンドリングベルトが取り付けられた）本体の健全性についても説明すること。

○放射性物質の漏えいがないことの説明では、密封装置の構造健全性に加えて、開口部となる部位の変位についても説明すること。

○臨界解析で考慮を要する形状の変化、臨界解析に影響を与える損傷について、具体的に説明すること。

6. その他：

【事業者からの配布資料】

資料1 MX-6P型輸送物 核燃料輸送物設計承認申請

以上